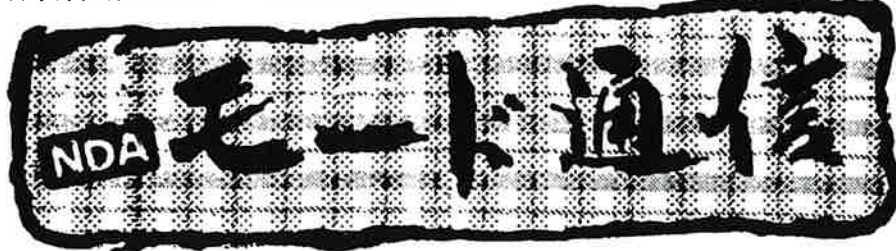


日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史

NDA公式
You Tube

発行所 一般社団法人 日本洋装協会

一般社団法人 日本洋装協会

事務局 〒113-0034

東京都文京区湯島4-8-3-307

TEL (03)3814-7023

FAX (03)3814-7023

発行人 伊賀 玲子

編集人 高橋 里子

黒澤 旬子

※NDAモード通信は年3回発行

令和7年
第70回 通常総会開催日時 五月十八日(日)
会場 東京洋服会館
ジェントリーホール

令和7年5月18日(日)、東京洋服会館ジェントリーホールにて、第70回通常総会が開催されました。

遠方からは、渡邊宮城県支部長、高野東北地区代表、酒井石川地区代表、坂本栃木地区代表にご出席いただき、話題も豊富で和やかな総会となりました。

総会は石原厚生副部長の司会により開始され、定款第24条に基づき、伊賀玲子会長が議長として選出されました。今回の議題は以下の通りです。

第1号議案 令和6年度事業経過報告の件

第2号議案 令和6年度収支決算承認の件

第3号議案 令和7年度事業計画案の件

第4号議案 令和7年度収支予算案承認の件

第5号議案 役員改選案承認の件

これらの議案は、出席者に加え、委任状およびオンライン参加者54名全員の賛同を得て、無事に承認されました。総会終了後には、令和7年度第2回理事会が開催され、新たに3名の理事が加わりました。

その後、会場をホテルグランドヒル市ヶ谷の「珊瑚の間」に移し、賑やかに懇親会が行われました。

懇親会では、伊賀会長・佐藤理事長の挨拶の後、白瀬顧問の乾杯の音頭で和やかに始まりました。

各地区代表の方々から近況報告があり、感動したり笑ったりしながら、食事

とともに楽しいひとときを過ごしました。また、稲荷田副会長からは「現代の日本人の服づくりに対する知識や技術力が海外から見ても低下してきている」とのご指摘があり、技術向上および指導の重要性を改めて心に刻む機会となりました。

デモンストレーションでは、アズマ株式会社様より、CLOを使用したブレゼンテーションが行われました。

洋装協会の初春セミナーで紹介されたオートクチュール仕立てのワンピースを、パソコン上のダミーモデルが着用し、3Dで再現された様子を披露していただきました。

アパレル業界のデジタル技術は絶えず進化していますが、服づくりの根幹を揺るがすことなく、ますます高度な技術に挑戦し、人間が成せる技を後世に伝えていくことも私たちの使命だと感じています。

役員・会員一同、今年度も気を引き締め、新しい企画を積極的に取り入れながら、楽しく充実した一年にしたいと思っています。



NDAニュース

<http://nihonyousou.or.jp/>

令和7年3月18日(火)

第2回 ネットの使い方講習
東京洋服会館(2階 ロビー)

令和7年4月18日(金)

第一回理事会

ワンポイントセミナー開催
原型を立体で作ろう!

講師 臼井富美子検定部長

令和7年5月11日(日)

フォローアップセミナー

第一回 文化新原型を使った
展開操作と補正の仕方講師 鹿島和枝先生
(賛助会員)

令和7年5月18日(日)

総会、懇親会

総会 東京洋服会館(3階)
懇親会 ホテルグランドヒル
市ヶ谷(3階 珊瑚)

令和7年5月23日

全技連マイスター会総会

令和7年5月24日(土) 25日(日)

検定部講習会
(詳しくは協会ホームページ掲載)

令和7年6月13日

東京都技能士会連合会総会

令和7年6月29日(日)

フォロアアップセミナー 第二回

コース1 パターン
基礎のジャケットコース2 縫製
毛芯仕立てジャケット

6月~11月の講習会も計画中

令和7年7月25日(金) 27日(日)

ものづくり・匠の技の祭典 2025

会場 産業貿易センター
浜松町館

賛助会員入会

栗城 文教(横浜市港南区) 4/17付

令和7年度（一社）日本洋装協会新役員

令和7年度のスタートにあたり、当協会では新たに3名の新理事を迎えるとともに6名の理事が新たな役職に就任いたしました。今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

名誉会長 山東 昭子

会長 伊賀 玲子

副会長 須永 正江

千葉支部長 稲荷田 征

廣谷さくら

石井 幸子

佐藤 順子

中林 理香

鈴木 和枝

リビ 裕子

高橋 里子

石原 洋子

厚生部長 小幡 明子

日本洋裁技能士会会長

マイスター会担当部長 富澤三喜子

宮城県支部長 渡邊せつ子

福岡県支部長 野田部寛之

大分県支部長 石田きよみ

石川地区代表 酒井 啓子

東北地区代表 高野 秋子

栃木地区代表 坂本美世子

長崎地区代表 馬場 明子

広報部副部長 黒澤 旬子

教育部副部長 佐々木悦子

教育部副部長 清末由美子

検定部副部長 小賀 公恵

検定部副部長 池田 幸代

総務部副部長 鈴木 好夫

中田 眞理

田中 幸子

保坂 三蔵

白瀬 一郎

相談役

千田 芳江

太田さ世子

内野 靖子

高橋 昌子

中田 眞理

大日向敬子

日比 和子

合田 睦子

三鈴イッ子

白井富美子

新理事の抱負

それぞれの立場から協会の発展に寄与できるよう、誠実に職務に取り組んで参ります。どうぞ今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

長崎地区代表 馬場 明子

検定部副部長 池田 幸代

総務部副部長 鈴木 好夫

長い間ご活躍されました理事の3名が参与に就任されました。

元厚生部長 合田 睦子

元広報部長 三鈴イッ子

元検定部長 白井富美子

トライアル会員募集

日本洋装協会では、新しい仲間をお迎えするために、入会前の体験会員「**トライアル会員**」を募集中です。

【体験参加内容】

講習会参加、交流イベント、特別セミナー等

【体験期間】手続きから1年間

【年会費】無料

（一社）日本洋装協会事務所

03(3814)7023まで
info@nihonyousou.or.jp



令和6年度 後期講習会報告

岩村 優子（千葉県）

令和7年2月9日セーヌ洋裁教室にて、後期講習会が開催されました。今回はワークシヨップ形式で「体型補正とデザイン」を学びました。

事前に人数分のベシックなパターンと、試着用ジャケット・参考デザインジャケットなど、9着を用意しました。これはなかなか大変でした。

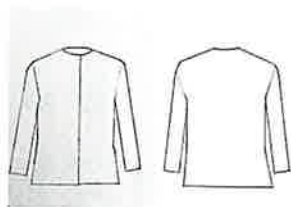
当日、参加者は基本のパターンの上に、各自の体型補正や袖、衿など好みのデザインを加えて、裁断・仮縫いまで行いました。

「果たして、私達にサポート出来るのか」と不安でしたが、皆さん生き生きと作業を進めてくださいました。

スタッフは、あちこちの席に首を突っ込んで、アドバイスをさせていたいただきました。最後は仮縫いの洋服を着てのお披露目会。

皆さんの誇らしげな笑顔が、とても嬉しかったです。

残念ながら洋服が仕上がるまで見届ける事は出来ませんでした。春にはこのジャケットを着てお出かけされている事を願ってやみません。



（ベシックパターン）



地区だより 栃木地区

ハワイ州最大級イベントに「いちご染めドレス」初出展

坂本美世子（栃木県）

（一社）日本洋装協会栃木地区 栃木県洋裁技能協会は、毎年3月、環太平洋の文化交流促進を目的に、ハワイ最大の文化イベント「ホノルルフェスティバル」に参加いたしました。今年も「いちご王国とちぎ」のPRと交流の一環として、「いちご染めウエディングドレス」を出展し、大きな反響を得ました。

このドレスは、出荷できない規格外の「とちおとめ」を100%使用して果汁染めしたシルク素材で、SDGsの視点からも注目され、現地ラジオ局で6分超の特集が放送されました。また、洋装文化の発展や次世代洋裁技能士の育成を掲げる日本洋装協会の理念のもと、洋装技術を通じて多国籍間の文化交流や国際理解の輪を広げたことに、現地でも高く評価されました。

さらに、現地ハワイ栃木県人会（本江滋夫会長）の協力を得て、「いちご型お手玉」や「栃木県産の材料を使った特製ロゼッタリボン」のワークシヨップを開催。順番待ちが出るほど好評で、用意した材料はすぐに完売。縫製体験を交えた交流は、笑顔あふれる貴重な文化体験となり、実りある国際交流を実現しました。



ホノルルフェスティバル2025

職人の小技 ②

千田 芳江

○パールピンを使って細かい修正

アートフラワーなどに使うピンを服作りに使うと、襟角、裾角など綺麗に形成出来ます。ピン先を縫い目の表から中に刺し入れ、縫い代を折り直すと、きちんとした角を作ることが出来ます。(目打ちは太過ぎる、待ち針では細過ぎる)



パールピン

○補修針を使って生地への損傷を修復

補修針には針孔があるものとなないものがあります。孔のない棒針には後半にギザギザが付いています。

粗い織物の一本の糸が切れた時、針先を糸の根元に刺して捻りながら裏に引きこみ、裏側に針を引き抜くだけで糸が絡み糸端の始末が出来ます。

新たに毛糸針に共布から解いた糸を通して渡し修復すると、より綺麗に直ります。



ほつれ補修針

初春セミナー

ワンピースの縫製技術と研究

清末由美子(千葉県)

令和7年2月24日、初春セミナーを開催しました。

講師は小幡明子(日本洋裁技能士会会長)、富澤三喜子(マイスター会担当部長)、白井富美子(検定部長)の3名です。

先生方が何度も打ち合わせを重ね、4か月かけて作り上げたワンピースのセミナーです。写真からデザイン画を起こし、パターン・シーチング・本縫いを経て完成させたワンピースです。

午前中はパターンの説明から始まり、実演は二手に分かれて行われ、一方ではボタンホール・ポケット・ダーツ・くせとり・袖作り、もう一方では後身頃・衿作り・肩脇線の作業を行いました。先生方のチームワークの良さは会場にも伝わり、セミナーは和やかな雰囲気でも進み、先生がポイントを伝えると受講者の皆さんは食い入るように画面を見つめ、次々に質問が飛び交いました。午後は、袖付け・衿付け・裾の始末まで行いました。

完成したワンピースを実際に受講者の方に着てもらうと、会場から歓声が上がりました。

心から洋裁を楽しんでいる言葉や姿勢、長年にわたって培われた技術の深さを感じることができた、充実したセミナーでした。



リバーシブルコート仕立て・

部分縫いの講習会に参加して

佐々木悦子(茨城県)

残り1席とのご連絡を受け、迷わずエントリー。2月19日、アズマ(株)本社にて、ヤノモデリスト主宰・矢野弘子先生の講習会に幸運にも参加できました。参加者は7名ほど。プロのパタンナー、テーラー勤務の方、専業主婦など、それぞれ異なる動機と期待を持ちつつ、矢野先生に温かく迎えられました。ダブルフェイス生地の魅力や特長、失敗を防ぐ適切な生地選びなどをご紹介いただきました。デバインド(表裏に渡る糸を外す作業)、エッジの始末(前瑞、片返し、割り)といった工程において、手加減ひとつで高級感を演出できる一方、逆に仕上がりが損なわれることもあるなど、注視すべきポイントを丁寧に伝授していただきました。

《部分縫い見本》を作る様子は、まるで「Quilting Bee」の集いのよう。最後に、ご紹介いただいたコート作品を試着。後ろ姿はゆったりと包み込むようなシルエットに、前は華奢な小肩で若々しさを表現するなど、パタンナーとしての意図、主張、そして必然性が見えてきました。

私もさらに丁寧な手仕事を心がけることを誓い、上質な素材でぜひ挑戦したいと思いました。



大阪・関西万博開催

フランス館のご紹介

広報部 高橋 里子

2025年4月13日から10月13日まで開催される大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界各国が未来への提案を行う国際博覧会です。なかでも注目されるのが、「愛の讃歌」をテーマに掲げるフランス館。人と人、そして自然とのつながりを象徴する「赤い糸の伝説」に着想を得て、「自分への愛」「他者への愛」「自然への愛」など、多様な「愛」に導かれる新たな未来像が表現されています。

パビリオンは、劇場のような神秘性と開放感をあわせ持つエントランスから始まり、外観はカーテンのようなベールに包まれた印象的な建築。館内展示には、ディオール(Dior)やルイ・ヴィトン(Louis Vuitton)といった、日本でも広く愛されるフランスのラグジュアリーブランドが参加。それぞれが表現する「愛」のかたちを通じて、ファッションの持つ感情的な力を体感できる空間となっています。



REPORT
No.73FawTOKYO 2025
生駒芳子セミナー参加レポート

高橋 里子 (埼玉県)

2025年3月26日から東京ビッグサイトで開催された「FawTOKYO (ファッショントーク東京)」は、アパレル、素材、アクセサリなどを扱う企業が世界中から集まる、日本最大級の総合展示会です。会場では展示だけでなく、セミナーなども充実して行われ、業界の動向を学ぶことが出来ます。私は、生駒芳子さんのセミナー「今、世界で何が起きているのか? ファッショントレンドで読み解く未来」に参加。彼女の活動に共感していたため、この講演を選びました。セミナーでは、「伝統と現代のファッションの融合」が重要なテーマとして語られ、日本の伝統工芸と海外ブランドとのコラボレーションや、テクノロジーとの融合事例が紹介されました。創造性と文化の融合がますます求められていることを示唆しました。また、未来を読み解く視点として5つの「トランスフォーマー」というキーワードも提示され、ファッション業界が直面する進化について語られました。



AJCクリエイターズコレクション展 2025

東京都美術館
三銘イッ子 (埼玉県)

東京都美術館で開催された「AJCクリエイターズコレクション展 2025」を鑑賞してまいりました。この展示会是一般公募で入賞した作品を展示するコレクション展です。アートジュエリー、フラワーアート、刺しゅう、ファッション等、11部門から選ばれた独特の作品に魅せられました。



AJCとは「アートジャパンクラフトの略称で、今回で17回目を迎えるAJCクリエイターズコンテストは、現代社会で求められる価値観を投影できるストーリー性と、工業製品では実現できない個性的な表現を生み出す手仕事力をもつ人々を「AJCクリエイターズ」と称し、その活動を世の中に周知することを目的に開催されている」とのことです。入賞された作品は、技法や素材に捉われない自由な発想で制作されており、特にアートジュエリーや首飾りに関しては、ダイナミックで自由な創作品とアート性が抜群に高い作品が選ばれていました。ファッション部門は個性的な表現はさることながら、素材の使い方にも驚かされました。まさにアートの世界に調和していました(撮影は禁止)。



検定部からのお知らせ

2025年度検定にも

実践にも役立つ講習会

日時 令和7年5月24日(土)

25日(日)

補講日 令和7年6月8日(日)

場所 東京都東職業能力開発

センター足立校

(ホームページ掲載)

令和7年度前期技能検定の

お知らせ

婦人子供注文服製作一級二級

(受験者の日程)

実技試験問題公表

令和7年6月3日

受験票発送

令和7年6月上旬より

実技試験

令和7年6月10日～9月9日

学科試験

令和7年7月13日、8月24日、31日

9月3日、7日、の定められた日

合格発表

令和7年10月1日(二級、二級)

お問い合わせは

検定部 白井迄

042(364)3946

各教室、アトリエでまとめて申し込み下さい。

東技連異業種交流

研修会に参加して

富澤三喜子 (東京都)

令和7年3月2日(日)から3日(月)にかけて、熱海のKKRホテルで異業種交流会が開催されました。参加者は総勢54名。

2日は天気も良く、熱海駅で日本洋装協会のメンバーと待ち合わせました。駅の1階にはたくさんのおみやげ屋さんがあり、2階はレストラン街。駅前広場には大きな足湯があり、にぎわっていました。

ホテルに到着すると、ロビーには7段飾りのお雛様が飾られており、その前で記念撮影をしました。KKRホテルは国家公務員の保養所で、組合員料金で宿泊できる共済施設です。

午後は大関先生の講話と、鈴廣かまぼこの関野さんの講演がありました。初代は魚屋だったそうですが、六代目の鈴廣吉さんにちなんで「鈴廣かまぼこ」と名を変えたそうです。

3日は朝から冷たい雨の中での移動となりました。「鈴廣かまぼこの里」にあるかまぼこ博物館では、職人の技術に触れながら、実際にかまぼこ作りを体験しました。

技術の継承や、もの作りの奥深さについて学ぶ貴重な機会となり、参加者同士の交流も深まりました。

